

Vol.3

連携実例集

**Build
Innovation
Together**

**共に
イノベーションを**

公益財団法人 大田区産業振興協会

新たな連携で産み出す イノベーション

大田区のものづくり

大田区には臨海部を中心に多くの機械・金属加工業を主とした製造業が立地し、日本高度成長期を支え発展してきました。その8割弱は従業員9名以下と規模は小さいながらも、厳しい市場の要求に応え、加工基盤技術と多様なノウハウを習得してきました。現在、約4200事業所のものづくり企業が稼働しています。

新たな連携が必要な時代へ

現在、IoTやビッグデータ、AIと言った技術革新が起こっており、進化するデジタル技術を活用することで今まで不可能と考えられてきた社会の実現性が高まるなど、産業構造が劇的に変わりつつあります。ものづくり企業が今までのように内製化された技術や人材だけでスピードの早い産業構造の変化に対応することは難しく、外部の機関や企業と連携することが強く求められています。

連携力によるイノベーション創出を目指して

こうした変革の時代において今後の成長が期待される産業分野にはEV・自動走行技術等の先端モビリティ、医療・健康・福祉のヘルスケア分野、産業全般を支えるロボティクス・デジタル分野等があります。当協会の次世代産業創造・産業クラスター形成事業は、大田区企業との親和性の高いこれらの分野を次世代産業と位置づけ、区内中小企業が新しい連携を構築することにより新分野に進出し、新たなイノベーションを創出することを目指しています。

本事例集では、当協会がマッチングして生まれた区内中小企業と企業・機関による様々な連携の実績をご紹介します。

Contents

PART01 産学連携（教育・研究機関 × 区内中小企業）

03

- 事例 01** ■ 搬送用自律移動ロボット「Mighty」の開発
教育機関 中央大学 × 区内中小企業 株式会社Piezo Sonic 他
- 事例 02** ■ 次世代ロボット用小型・軽量・高出力油圧シリンダおよび油圧揺動モータおよび制御基板の開発
教育機関 東京工業大学 × 区内中小企業 株式会社H-MUSCLE 他
- 事例 03** ■ 新商品焼き菓子マドレーヌ「少女と観覧車」の開発（パッケージデザインと商品ネーミング） 04
教育機関 東京工科大学 × 区内中小企業 パティスリー ルージュブランシュ
- 展示会** ■ おおた研究・開発フェア

PART02 医工連携（医療・看護・介護福祉・ヘルスケア分野 ニーズ × 区内中小企業） 05

- 事例 04** ■ DentalSCOPE インジケータの開発
教育機関 朝日大学・鶴見大学 × 医療機器製造販売業者 メディア株式会社
× 区内中小企業 有限会社和氣製作所・日進工業株式会社
- 事例 05** ■ コロナ対策「飛沫曝露予防キット」の開発
臨床工学技士 CE 野口企画 × 医療機器メーカー企業 フクダ電子株式会社
× 区内中小企業 有限会社大響機工
- 事例 06** ■ 日本人患者様向けストーマ装具装着穴のリサイズ加工 06
医療機器メーカー企業 ビー・ブラウンエースクラブ株式会社
× 区内中小企業 日新電気株式会社
- 事例 07** ■ オール樹脂製医療用チューブ鉗子の開発
文京区の医療系商社 × 区内中小企業 日進工業株式会社
- 事例 08** ■ 足関節リハビリ支援装置「スムーズウォーカー」の開発
医療機関 氏家脳神経外科内科クリニック等 × 区内中小企業 アベテクノシステム株式会社

PART03 スポーツ産業分野との連携（スポーツ分野ニーズ×区内中小企業） 07

- 事例 09** ■ 車いすバスケットボール用車いすのキャスター部品「フォーク」及び「シャフト」の開発
車いすメーカー 株式会社松永製作所
× 区内中小企業 株式会社カセダ、株式会社エース、株式会社昭和製作所
- 事例 10** ■ CFRP（炭素繊維強化樹脂）製フレームによる車いすテニス用車いす車輛の開発
車いすメーカー 株式会社松永製作所 × 区内中小企業 株式会社 The MOT Company 他

PART04 農工連携（農業分野ニーズ×区内中小企業） 08

- 事例 11** ■ 急斜面対応型 半自律走行型草刈ロボットの開発
研究機関 農研機構（西日本農業研究センター）
× 区内中小企業 株式会社エース、I-OTA 合同会社等
- 事例 12** ■ アルガンの実割り機の開発
モロッコ美容コスメ ローズ ド マラケシュ × 区内中小企業 株式会社カセダ他
- 事例 13** ■ 石が混入した破碎米におけるポン菓子機の活用 09
農業ニーズ アフリカ食料問題 × 区内中小企業 テック大洋工業株式会社
- 研究会** ■ おおた農水産業研究会

大田区研究開発マッチング 10

教育・研究機関×区内中小企業

教育・研究機関との連携推進

区内中小企業が教育・研究機関等との連携により、多様化、先進化する開発ニーズを捉えて共同研究や新製品開発などを行い、AI、ロボティクス、航空・宇宙、医療、農業といった今後成長が期待される「次世代産業」へ参入し、イノベーションを創出することを目指しています。

事例 01

教育機関 中央大学理工学部 国井研究室 × 区内中小企業 株式会社Piezo Sonic 他
搬送用自律移動ロボット「Mighty」の開発

製造業、倉庫、飲食店、スーパーなどでの自動物流を担う新技術として、大学や区内外事業者と連携して搬送用自律移動ロボットを開発しました。このロボットは、月面探査ロボットの乗越え能力（走破性能）を一般環境用に最適化し、電力ゼロで姿勢を保つことが出来る当社製ピエゾソニックモータをステアリングに搭載しています。20cmの段差を乗越えることができ、その場旋回、真横移動が可能であるため、屋外・屋内で幅が細い通路でも安定して走行することが可能です。搭載しているセンサによって周辺環境を認識し、自動で走行ルートを生成し、近くの人や障害物を自動的に避けながら走行することが可能な製品です。個別カスタマイズにも柔軟に対応出来ることも大きな特徴です。

企業特色

株式会社 Piezo Sonic は、電力ゼロで姿勢保持可能な高トルクモータと段差乗越え・真横移動が可能な搬送用自律移動ロボットの開発事業を展開しています。「産学官連携」を心がけており、区内協力企業様と共にモノづくりを進めています。



※本件は、区内における先端産業分野のクラスター形成を促進するため、協会が実施した「戦略的産業クラスター形成パイロット事業」に採択されたプロジェクトの一つです。

その他の参画企業：株式会社テクノロジーリンク、有限会社ファクタデザイン、株式会社竹野入工業、株式会社キョウエイ、マブチモーター株式会社、Quadcept 株式会社、株式会社 e-Gle、株式会社アンドサンクス、オートデスク株式会社

事例 02

教育機関 東京工業大学 × 区内中小企業 株式会社H-MUSCLE 他
次世代ロボット用小型・軽量・高出力油圧シリンダおよび
油圧揺動モータおよび制御基板の開発

東京工業大学は、約5年間に亘り内閣府革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）・タフ・ロボティクス・チャレンジにおいて、主に大田区内の油圧専門メーカー数社と協力して小型・超軽量・大出力・超低摩擦のロボット用油圧アクチュエータを研究開発しました。当社は、この成果の実用化・社会展開を目指して設立された大学発ベンチャーです。さらなる実用化・シリーズ化に向けた設計開発を、東京工業大学及び専門的技術を有する大田区内外の企業と連携して行いました。既に複数の大手企業より引き合い、受注を受け、成果を挙げつつあります。

企業特色

株式会社 H-MUSCLE は、内閣府革新的研究開発推進プログラム ImPACT、タフ・ロボティクス・チャレンジにおける研究成果をロボット用に特化した油圧アクチュエータの実用化・社会展開を目指して設立された東京工業大学発ベンチャーです。



※本件は、区内における先端産業分野のクラスター形成を促進するため、協会が実施した「戦略的産業クラスター形成パイロット事業」に採択されたプロジェクトの一つです。

その他の参画企業：JPN 株式会社、セキダイ工業株式会社、トク・テック株式会社、株式会社ダイニチ、株式会社坂本製作所、丸善工業株式会社、川本重工株式会社

事例 03

教育機関 東京工科大学 × 区内中小企業 パティスリー ルージュブランシュ 新商品焼き菓子マドレーヌ「少女と観覧車」の開発 (パッケージデザインと商品ネーミング)

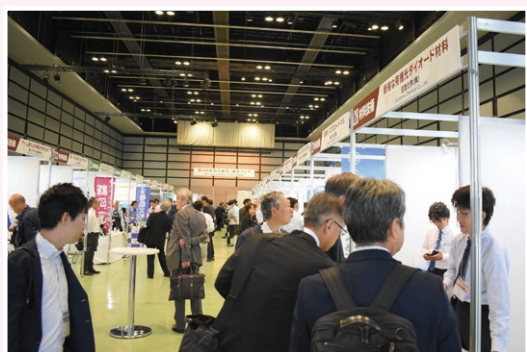
当社では、地元根ざした商品作りを大切にしております。新商品の開発にあたり、地元の東京工科大学にデザインの協力を依頼しました。商品は昔ながらのマドレーヌの味を再現し、形状は、一般的な貝殻型ではなく昔ながらの円型となりました。円形のマドレーヌは、蒲田の駅ビル屋上の「観覧車」を意味します。また、「赤と白」を意味する店名 Rouge Blanche から店舗を「少女」と例え、商品名を「少女と観覧車」としました。商品ロゴはピンクと白で作成し、ステッカーや商品カードに展開しました。本商品は「大田のお土産 100 選」に選出されました。

企業特色

パティスリー ルージュブランシュでは、商品の原材料にこだわり、ひとつひとつ真心を込めて作っております。また、地域に根ざした商品を届けたいという想いがあり、以前店舗を構えていた田園調布では「桜坂マドレーヌ」、今回は蒲田で「少女と観覧車」を作りました。



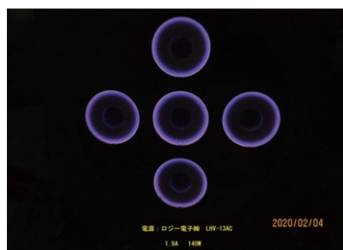
おおた研究・開発フェア



おおた研究・開発フェアは、「技術移転」「新製品・新技術」「産学連携」「産産連携」をキーワードにした展示会です。最新の技術シーズや研究成果の技術移転や社会実装を目指す出展者と新たな技術を求める来場者の出会いの場を提供し、イノベーションの創出を促進することを目的としています。例年、多くの区内中小企業が来場し、新たな連携が生まれ、受発注取引、共同研究、研究室の区内誘致などの多くの実績につながっています。

教育機関 麻布大学 × 区内中小企業 インパクトワールド株式会社 ウイルス不活化の検証

インパクトワールド株式会社は、共同研究パートナーの麻布大学と「おおた研究・開発フェア」に出展し、来場者の皆様から多くのニーズや気づきをいただくことができました。我々の技術はプラズマを利用してダイオキシシンや揮発性有機化合物（VOC）など空気中の有害物質を分解する技術ですが、菌やウイルスの不活分化野ニーズにも貢献できる可能性を大きく感じました。「おおた研究・開発フェア」への出展をきっかけに、さらなる共同研究を進めた結果、ネコカリシウイルスを対象にした実験では、プラズマ活性ゾーンにおいてウイルスは0・01秒以内に99・9%不活化できることを確認し、その成果を麻布大学から発表していただきました。今後は新型コロナなど他のウイルスについても不活化できる可能性が非常に高いとの仮説のもと、製品化を見据えて更なる共同実験に進み始めております。



医療・看護・介護福祉・ヘルスケア
分野のニーズ × 区内中小企業

医療分野への進出支援

医療やヘルスケアの分野は、社会の高齢化やデジタル技術の導入等、社会や産業の変化により、今後も成長が期待される産業です。当協会は、医療機器のほか、福祉や介護を含め医療全般の分野を区内中小企業の培ってきた高度基盤技術が活用できる有力な市場であると考え、新規参入を支援しています。異業種からの参入が難しい分野ですが、医療分野出身の専門コーディネーターが医療分野とものづくり企業の橋渡しをし、スムーズな連携を支援しています。

事例 04

教育機関 朝日大学・鶴見大学 × 医療機器製造販売業者 メディア株式会社
× 区内中小企業 有限会社和氣製作所・日進工業株式会社
DentalSCOPE インジケータの開発

朝日大学、鶴見大学による研究成果、有限会社和氣製作所と日進工業株式会社によるものづくり、メディア株式会社のソフト開発と販売力が連携し、骨密度の解析に不可欠な専用インジケータを開発しました。『DentalSCOPE』は専用のインジケータを使用して撮影した歯科用のレントゲン写真を解析し、歯槽骨の骨密度を計測する医療用プログラムです。有限会社和氣製作所と日進工業株式会社が設計と製造を手掛けたインジケータは、人の歯が直接当たる部分でもあり、正確なレントゲン写真を撮るために高い精度と安全性が要求されます。約3年間に設計と試作を繰り返し、医療機器としての認可を得て、2020年9月にメディア株式会社により上市されました。

企業特色

有限会社和氣製作所

工場内を24時間温度管理し高速・高精度マシニングセンタによる高品位加工を得意としております。長時間の連続加工においても精度劣化がなく金型の磨きレス・磨き工程の軽減・短納期化を追求しております。

日進工業株式会社

プラスチック射出成形・金型設計・研究開発を生業としております。プラスチックでお困りのことがありましたら、いつでもご相談ください。お客様の立場に立って誠心誠意ご対応致します。



事例 05

臨床工学技士 CE 野口企画 × 医療機器メーカー企業 フクダ電子株式会社
× 区内中小企業 有限会社大響機工
コロナ対策「飛沫曝露予防キット」の開発

救急搬送された重篤な患者は、医師らによって気道挿管（気道確保）されますが、その際に医療従事者はウイルスを含んだ飛沫に曝露され、感染のリスクを負う事となります。医療従事者を感染から守り、医療崩壊を防ぐ為に臨床工学技士であるCE 野口企画代表の野口裕幸氏が企画し、医療機器製造業の有限会社大響機工で開発・製造しました。今回の開発品は消毒液の影響を受けないステンレススチールを採用しており、長期の使用にも耐えうる設計となっています。フレームに被せるビニールは、単回使用（使い捨て）とし、処置終了後に破棄することで消毒の手間を最小限にしています。開発したキットはクラウドファンディングにより医療機関へ寄付した後、医療機器メーカー企業のフクダ電子株式会社より発売されました。

企業特色

有限会社大響機工は主に金属加工、製缶、溶接加工、鋁金加工を行っており、研究試験治具や、自動車製造ライン治具、また医療器具の製造等を行っております。大田区ものづくりネットワークも活用し、お客様の様々なご要望にお応えいたします。



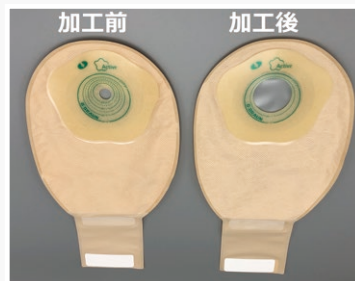
事例 06

医療機器メーカー企業 ビー・ブラウンエースクラップ株式会社 × 区内中小企業 日新電気株式会社 日本人患者様向けストーマ装具装着穴のリサイズ加工

ビー・ブラウンエースクラップ株式会社はドイツに本社を置く医療分野のリーディングカンパニーです。同社は人工肛門・人工膀胱の方が使用する「ストーマ装具」を海外から輸入販売していますが、日本人の患者様へより良いサービスを提供するため海外規格である装着孔（穴）を日本市場向けの規格へ変更したいと相談がありました。ストーマ装具は直接身体に取り付けて、排泄物を管理するため、気密性が求められ、ストーマ袋に加工穴以外の傷や折り目などはつけてはいけなく、加工時のバリや加工粉が出てはならない等の厳しい条件がありましたが、当社が長年の樹脂加工で培った技術でこの課題を解決し、試作、製品化にたどり着きました。

企業特色

日新電気株式会社は、樹脂加工一筋 54 年、「日々新たに挑戦するエンジニア集団、やりがいのあるものづくりでお客様の難題に応える」を経営理念とし、蓄積したノウハウと多種多様な工作機械で樹脂加工のワンストップサービスを提供いたします。



事例 07

文京区の医療系商社 × 区内中小企業 日進工業株式会社 オール樹脂製医療用チューブ鉗子の開発

国内の金属鉗子製造メーカーの減少と高機能かつ衛生的な樹脂製鉗子のニーズの高まりをきっかけに、日本製の金属鉗子からの置き換えとして、当社のメタリック塗装の技術を活かし開発しました。当社が開発した樹脂鉗子は、●樹脂製でありながら滅菌に対応し、リサイクルが可能、●MRI に反応しない、●多くの色調の選択が可能、●抗菌特性を付与できる、●塗装レスのため塗膜剥離の心配がない、●金属鉗子より安価、という特徴があります。既に一部の販売を開始しており、多くの医療系商社及び医療関係者にご紹介しています。また今後は、更なる付加価値を加えるため、鉗子についてあるプロジェクトを進行しています。

企業特色

日進工業株式会社は、プラスチック射出成形のプロ集団で、研究開発・試作から成形・組立まで一貫受注いたします。特に、メタリック成形を得意としております。当社の成形品・技術は、自動車業界をはじめ多くの業界に採用されています。医療機器製造業登録（登録番号 13BZ201133）



事例 08

医療機関 氏家脳神経外科内科クリニック等 × 区内中小企業 アベテクノシステム株式会社 足関節リハビリ支援装置「スムーズウォーカー」の開発

東京工業大学の特許をもとに、大田区産業振興協会のコーディネートにより、アベテクノシステム、東京工業大学、東京労災病院による開発チームを結成し（2016 年）、足関節リハビリ支援装置を開発しました。関節の癒着・拘縮の予防、関節可動域の改善に効果があり、脳卒中などによる麻痺や骨折後などの足関節リハビリ支援装置です。内蔵のモータによりフットプレートを可動させ、設定した角度及び速度・強度により、一定の時間、底屈・背屈の往復運動を繰り返します。医療機器としての製品化にあたっては、氏家脳神経外科内科クリニックの監修のもと開発し、株式会社メッドフォルシュングがブランドオーナーとなり認証取得しました（2021 年）。「メッドフォルシュング スムースウォーカー」の販売名で販売中です。

企業特色

アベテクノシステム株式会社は“「最初のひとつ」を創る会社”として、①精密切削加工②装置等の設計製作③監視・放送システム等のシステム開発、を行ってきました。これらの技術を生かし医療・福祉機器開発に取り組んでおります。本開発を機に、医療機器製造業登録及び、高度管理医療機器等販売業・貸与業を取得しました。



スポーツ産業 分野との連携

スポーツ産業分野のニーズ × 区内中小企業

スポーツ産業分野の課題解決

スポーツ産業分野は、昨今の健康志向の高まりや障がい者スポーツの発展、eスポーツの登場などを背景に、ニーズが多様化しています。選手ごとに異なる要望や障がいを持つ方が安心安全に扱えるスポーツ用具の開発は、多品種少量生産を得意とする大田区中小企業の決め細やかな技術力・対応力が活かせる分野です。当協会では、ライフサイエンス・ヘルスケア分野のひとつとして、スポーツ産業分野との連携を進めています。

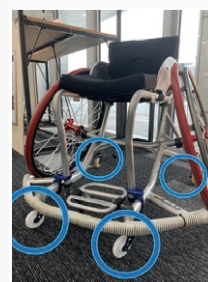
事例 09

車いすメーカー × 区内中小企業 車いすバスケットボール用車いすのキャスター部品 「フォーク」及び「シャフト」の開発

大田区及び大田区産業振興協会では、平成 29 年度から令和 2 年度までの期間、区内中小企業 14 社と車いすメーカーとの連携により「障がい者スポーツ用具製品開発事業」を実施しました。令和 2 年度には、車いすバスケットボール日本代表選手の採用を目指し、車いすを操作する上で重要なキャスター部品である「フォーク」と「シャフト」を開発、既存品に比べ約 50%の軽量化を達成しました。開発した「フォーク」と「シャフト」は、東京 2020 パラリンピック競技大会に出場する日本代表選手に採用され、男子は銀メダルを獲得、女子は 6 位入賞という好成績を収めることができました。

企業特色

大田区には、設計から製作まで区内企業間のネットワークで対応する「仲間まわし」の文化が根付いています。本件は、区内ものづくり産業の「技術力の高さ」とともに、「開発力」や「製造対応力」を表す好事例です。



事例 10

車いすメーカー 株式会社松永製作所 × 区内中小企業 株式会社 The MOT Company 他 CFRP（炭素繊維強化樹脂）製フレームによる車いすテニス用車いす車輛の開発

大田区産業振興協会が実施した「障がい者スポーツ用具製品開発事業」において、車いすメーカーの株式会社松永製作所（本社：岐阜県）と連携し、CFRP（炭素繊維強化樹脂）製フレームによる車いすテニス用の車いす車輛を開発しました。当初、パイプの組み合わせで構成されていたアルミフレームを CFRP へ置き換えることで軽量化につながると想定していました。その結果、軽量化は図れたものの、選手がラケットを振った際にバランスを崩してしまうことから、フレームの反発力が重要な役割を担っていることに気がつきました。フレームの設計を大幅に変更しモノコック形状（一体構造）としたことで、その反発力を高めることに成功しました。また、CFRP とホイール等をジョイントするための金属部品は株式会社エースを中心とした大田区中小企業の協力を得て完成させました。本車いすは選手から高い評価を受けました。

企業特色

株式会社 The MOT Company は、CFRP のプレス量産加工設備を備えています。金型にプリプレグを入れて一発成形する技術を開発しました。



農業分野のニーズ×区内中小企業

農業分野への進出支援

当協会では、地方金融機関や外部機関等との連携を契機に、農工連携セミナーや農業法人視察ツアー等を実施し、区内中小企業による研究会を発足させました。農業現場では機械化や省力化、IT化等が必要とされていますが、個々の課題を現場で解決する手段は限られています。そこで区内中小企業が技術力を生かし、農業現場での課題解決のために細かなニーズに対応した農業機械の開発に取り組んでいます。現在では研究会はおおた農水産業研究会として、農業だけでなく水産業や海外へ活動を広げています。当協会では、こうした新たなクラスター構築による課題解決型のイノベーション創出を進め、大田区産業基盤の強化を図ります。

事例 11

研究機関 農研機構（西日本農業研究センター）
× 区内中小企業 株式会社エース、I-OTA 合同会社等
急斜面对応型 半自律走行型草刈ロボットの開発

本製品は、農業・食品産業技術総合研究機構との共同開発からスタートしました。日本の農地の約4割は山間地に存在しており、除草作業は高齢化した農家には大変危険な重労働でありながら必須の作業です。その効率化と安全性の向上に大きく貢献する機体を区内中小企業の共同事業体であるI-OTA 合同会社およびそのネットワーク企業と協力して開発しました。本製品の特徴は、急斜面の草刈りに特化した特殊な機体です。2本の固定杭と、その間に設置したワイヤーによる牽引で精緻な位置制御を行い、斜面の草刈りを行います。重量は25kg程度と軽量で、足回りがキャスターとなっているため、人力で押して移動させることができます。また、ワイヤ牽引式なので、雨上がりのぬかるんだ斜面でも滑ったり落ちたりする心配もありません。今後は、区内企業との連携を強化して2022年の市販化を目指してまいります。

企業特色

株式会社エースは、自動車メーカー及び部品メーカー向けの各種治具製作及び専用機部品、鉄道関連部品の他、様々な分野の機械加工を行っています。区内企業及び全国およそ200社のネットワークを構築し、一貫生産体制を整えています。また、現在は農機具開発を積極的に行っている企業です。



事例 12

モロッコ美容コスメ ローズ ド マラケシュ × 区内中小企業 株式会社カセダ他
アルガンの実割り機の開発

モロッコの特産品で化粧品等にも使用されるアルガンオイルを製造するには、クルミをしのぐ硬さの殻を割って中の仁を取り出さなければなりません。現地では、石の上にアルガンの実を置き、それを手で支え、上から石を打ち付けて殻を割っています。効率も悪く、仁の欠けなども発生し、何よりも手の大げがのリスクが絶えず付きまといま。ローズ ド マラケシュを展開している株式会社ジェイ・シー・ビー・ジャポンからの依頼を受け、これらを一度に解決することを目指し数年がかりで本機械を開発しました。開発にあたっては同じ大田区企業の有限会社さつき電子の力を借りて良品率の向上を目指しました。今後は、実際に使用した現地の方々のご意見を聞きながら改良を行います。併せて他の種子の破砕機の開発へとフィールドを広げていく予定です。

企業特色

株式会社カセダは機械設計を得意としている会社です。現在は「おおた農水産業研究会」の会長も務めており、農業機械開発でも各種実績を有しています。



事例 13

農業ニーズ アフリカ食料問題 × 区内中小企業 テック大洋工業株式会社 石が混入した破碎米におけるポン菓子機の活用

「おおた農水産業研究会」の研究会会員として活動している中、ケニアの市場などで商品価値が低い「石が混入した破碎米」を有効活用したいとのニーズがあることを知りました。このニーズに対し、石と破碎米の選別と調理を同時に行うことができるポン菓子機を使用した解決方法を研究するため、ポン菓子機に多くの知見を有した有限会社ポン菓子機販売様と連携を組み開発を進めました。国内では電気で釜を回転し、ガスで燃焼加圧するポン菓子機が一般的ですが、アフリカの資源を考慮し人力のみで釜を回転させ、薪の火力でポン菓子機を燃焼加圧するアフリカ向け仕様とした点に新規性があります。開発したポン菓子機をアフリカに普及させることにより、石が混入した破碎米等の価値が低い穀物に簡単に付加価値をつけ、新たな収入源を提供することができると考えています。

企業 特色

テック大洋工業株式会社は、さびの問題を高機能防錆塗料システムを活用し、解決していく会社です。最近では大田区内の区設掲示板を新しくし、900基普及しています。



おおた農水産業研究会

おおた農水産業研究会は、当協会と日本各地の金融機関との連携による農業ニーズの発掘をきっかけに、大田区を中心とした卓越した技術・企画力を持つ企業が集結し、H29年に活動を本格化させました。株式会社カセダが主に設計を担当し、研究会のメンバーとものづくりを分担して最終製品へと仕上げています。国内のニーズに留まらず、今では農林水産省等からの提案を受け、ルワンダ、ウガンダなどのアフリカ各国からのニーズに応えています。

農業ニーズ ルワンダ共和国 × おおた農水産業研究会 「ひまわり播種機の開発」

当研究会では、2016年みずほ情報総研株式会社様主導の、アフリカ・ルワンダ共和国への花き生産技術等輸出プロジェクトの一環である「ひまわり播種機」(種まき機)の製造に協業として尽力しました。現地では木製の壊れやすい播種機を使用していたため、農作業効率が悪く非常に困っていました。そのニーズを解決すべく、ステンレスを用いた丈夫で持ち運びしやすい新たな播種機を開発し、現地作業員からは作業性が格段に向上したとのお声をいただきました。当研究会では引き続き、国内外隔たりなくお困りごとの解決のために尽力してまいります。



農業イベント情報 農水省 × おおた農水産業研究会 「第7回アフリカ開発会議への出展」

当研究会は、2019年8月28日～30日に開催されて「第7回アフリカ開発会議(TICAD 7)」のサイド・イベント「日本・アフリカビジネスフォーラム& EXPO」において農林水産省様ブースの一角に展示させていただきました。以下4つの製品の展示を行ったところ、大きな反響を得ることができ、今後連携や取引につながる見込みです。今後、大田区中小企業のアフリカ進出や、農工連携の可能性の広がりが期待されます。



出店 内容

- ① (株) カセダ
- ② テック大洋工業 (株)

米の石抜き器
ポン菓子機

- ③ (株) 農援隊
- ④ (株) 共立理化学研究所

アイメック農法によるトマト栽培
パックテスト®

大田区研究開発マッチング

大田区産業振興協会では、共同研究・新製品開発・設計・試作等のパートナーをお探しの皆様に、最適な大田区ものづくり中小企業を紹介いたします。皆様のご要望に合わせた マッチング方法を提供いたします。

Web サイト mirai <https://www.mirai-ota.net>

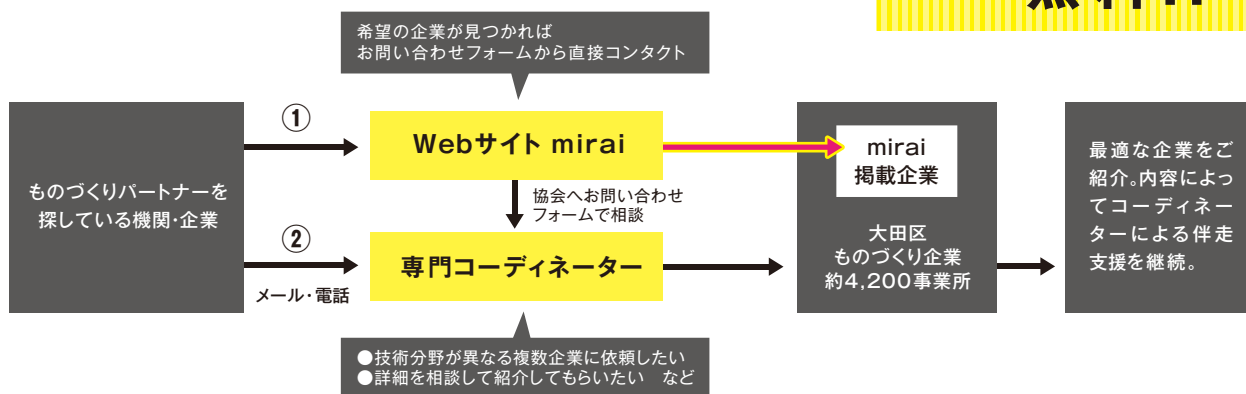
研究開発、設計、試作量産、難加工等を得意とする約160社の情報を掲載しています。お問い合わせフォームから直接ご連絡いただけます。



コーディネーターに相談

電話やメール等で直接お伺いした上で、大田区ものづくり企業約4,200事業所の中から最適な企業をご紹介します。

**ご相談・マッチング
無料!!**



オープンイノベーション

大田区企業向けに貴社の技術課題やニーズをプレゼンいただき、大田区企業からの提案を募集します。多くの企業が参加しますので、思いがけない提案が得られる可能性が広がる形式です。内容によっては、当協会と事前に打ち合わせを行い、参加企業を絞って開催することも可能です。



出張展示会

貴社の技術課題やニーズ、ご希望に合った企業を協会がピックアップし、貴社の会議室等をお借りしてミニ展示会を行います。貴社で行うため、より多くの社員の方にご参加いただくことが可能です。



お問合せ先

公益財団法人大田区産業振興協会 経営革新部門 イノベーションセッション
電話: 03-3733-6294 FAX: 03-3733-6459 E-mail: mono_matching@pio-ota.jp



お問合せ先

公益財団法人大田区産業振興協会
経営革新デパートメント
イノベーションセクション
〒144-0035
大田区南蒲田1-20-20 大田区産業プラザPiO
TEL : 03-3733-6294 FAX : 03-3733-6459

Access

【電車】◎京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分
◎JR京浜東北線、東急池上・多摩川線
「蒲田」駅より徒歩約13分
【お車】◎地下駐車場完備 100円／30分